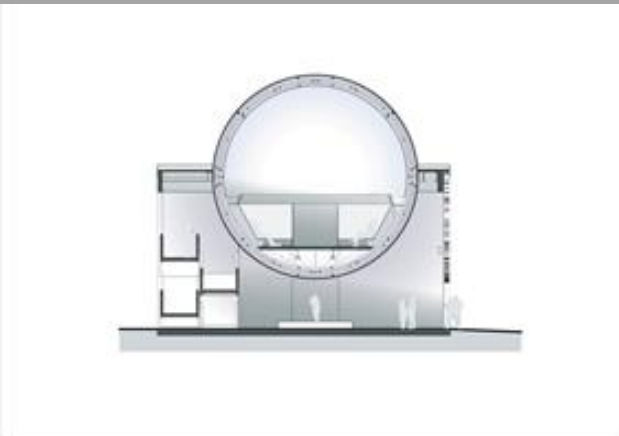


04.オランダ館



設計：オランダの建築デザイン事務所 RAU Architects

延べ床面積：約1,157平方メートル

構造：S 造

2つの空間と1つの球体で構成されている面白味のある建物

●ファサードの特徴

外壁、屋根の仕上げは波打つスラットが立体的に配されており、屋根・壁の間に重なりながら被さる形になっている。このスラット層が直射光を遮りながら、光や影の揺らぎを内部に取り込むように設計されている。

●構造的特徴

建物の屋根は比較的フラットな矩形プランを持ちつつ、中央部(球体部分)で高さが上がっているような構成。球体の上半分が屋根上に露出しているため、屋根スラブ／構造梁などは球体の支持構造を含めて強度確保なされている。屋根構造は大スパンを取っており、内部に柱などが目立たず、広い開放空間を確保している。

●感想・コメント

研修に行く前から一目見てみたいと思っていたパビリオンである。大屋根リングからと地上で見るファサードの違いがあり建物の表情が違うと感じた。人工物の建物に自然物の太陽と水という生命の根源を取り入れ実現的なデザインの表現がなされている点に関しとても印象的であった。夜間のライトアップで光の表現もよかった点である。

神田